2021年1月8日

差枚	-1514枚	RANK	C

実戦機種

交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO、SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ、ほか

実戦レポート

それまで全く取れなかったS級を3連続でゲットしての幕切れという、まさかの大団円を迎えた2020年。やれ前厄だ、厄年だとあらゆる面で苦労させられたこの2年だったが、悪いもの全てが払拭されそうな会心の3連勝ではないか。そして始まる2021年、その最初の実戦となったこの日。約50人中32番という入場番号だったが、良い意味でこれはどうでもよい。オレの立ち回り次第で、高設定に辿り着くチャンスがいくらでもあることは分かっているので、あとはそのチャンスを掴むことができるかどうか、ただそれだけだ。そんな気持ちで入店すると、先客たちの狙いはイイ感じにバラけたようで、全台まるまる埋まっている機種はごくわずか。すなわち、全台高設定機種に座れる可能性すら、まだたっぷりありそうだということだ。

そんな中で真っ先に選んだのは、またまたそれかよ！と言われそうな「パチスロ交響詩篇エウレカセブン3」。昨年末の3連続S級のうち2回はこの機種のおかげだったし、今回のお店でたびたび高設定が使われているのを見ていることもあって、空いているのを見たら座らずにはいられなかったのだ。
ということで打ち始めると、早い周期での初当り、ATレベルの上がりっぷり、そしてREG中のキャラ紹介にエピソードBIGと、高設定らしさが次々と出現する隣の台！　じゃあ全台系なのかと言われれば、「んなわけねぇだろ！」と全力で否定してくるオレの台…。まぁ、ひとまず自分の台はいつヤメても良いことと、隣の台が高設定っぽいということが早めに分かったのは収穫だ。じゃあ、まずはその台番と同じ末尾の挙動を見てみようか…と、その前に。実はエウレカ3の隣のシマで朝から稼働していた「SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ」の1台もかなり高設定っぽい挙動であることを、同じく確認していたのだ。なので、今日の当り末尾はそのどちらかじゃないかと予想して店内を見回ると…どちらもあり得そうな感じに見えるなぁ。じゃあ、そのどちらかの空き台で攻めてみるか。っつって、「S喰霊-零-」や「パチスロ北斗の拳 新伝説創造」など、なかなか他の人が攻めづらいところを打ってみるが、ちょこちょこ初当りは引くものの大きな出玉には繋がらず、設定的にも「良くもなく、悪くもなく…」という感じ。

そうこうしているうちに、例の高設定っぽいと思われたエウレカ3やバジリスクⅢが空いたので、その両方を打ったのだけど、オレが見ていた時ほどの挙動の良さは感じられず、最後までパッとしない展開のまま実戦終了。結局、全台系は朝イチにのみ打つチャンスのあった「SLOTまどか新編」だったし、特定末尾もオレが予想した2つの数字とは全く違ったし、完全に見当外れの完敗でしたわ。逆に惜しいところが無さすぎて清々しいほど。2021年、次から頑張る！